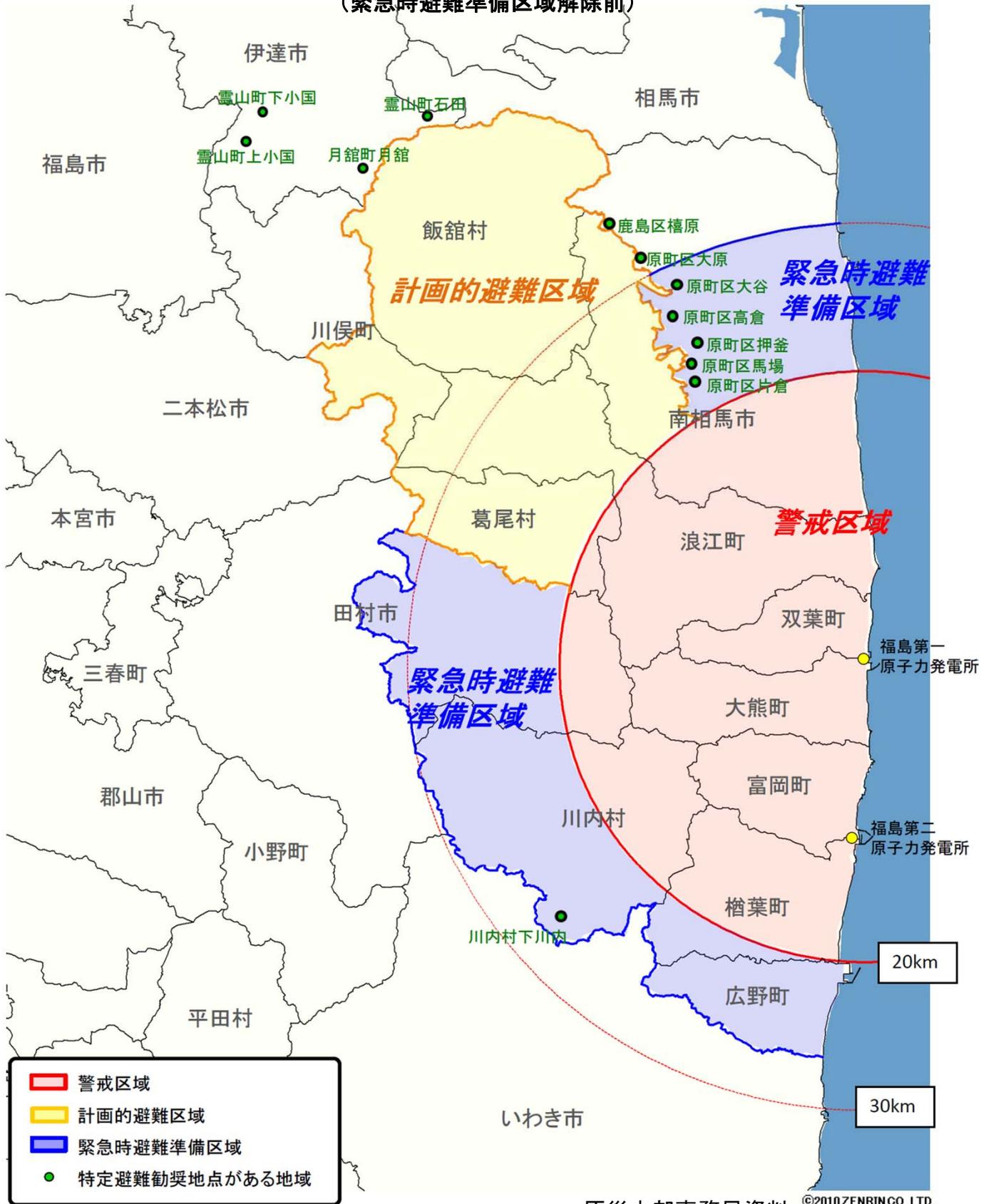


警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域及び特定避難勧奨地点がある地域の概要図  
(緊急時避難準備区域解除前)



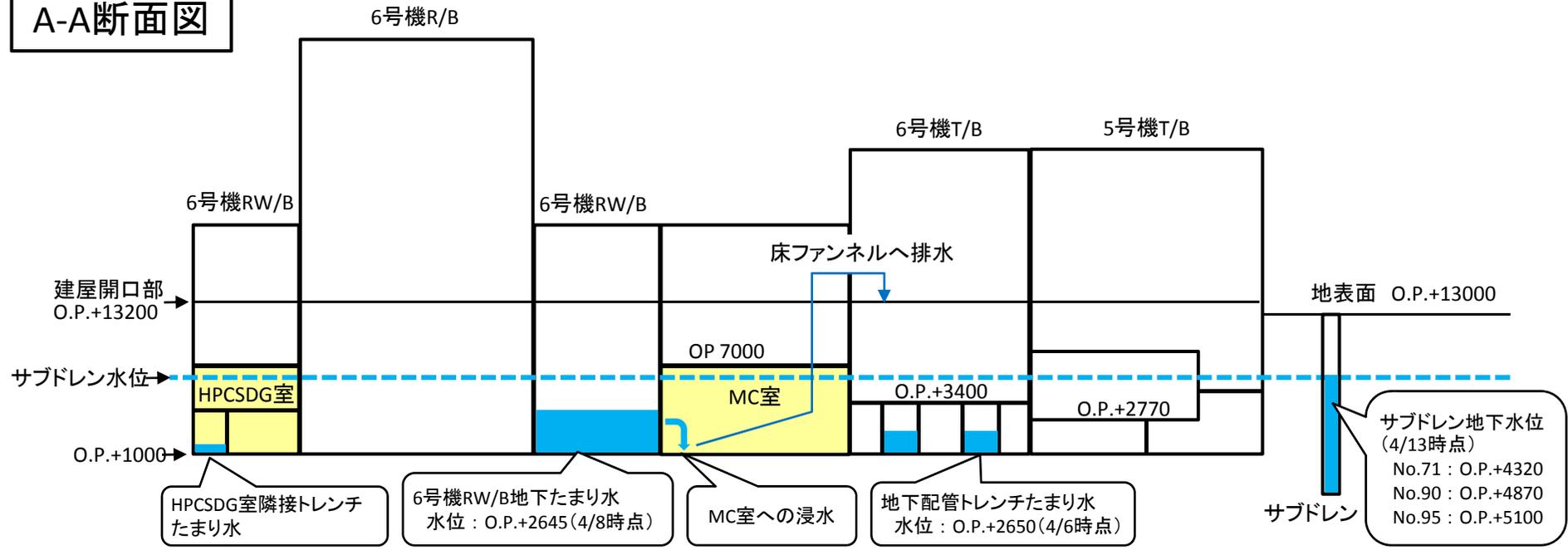
警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域及び特定避難勧奨地点がある地域の概要図  
 (緊急時避難準備区域解除後)



# 6号機建屋地下への地下水の浸水状況概要

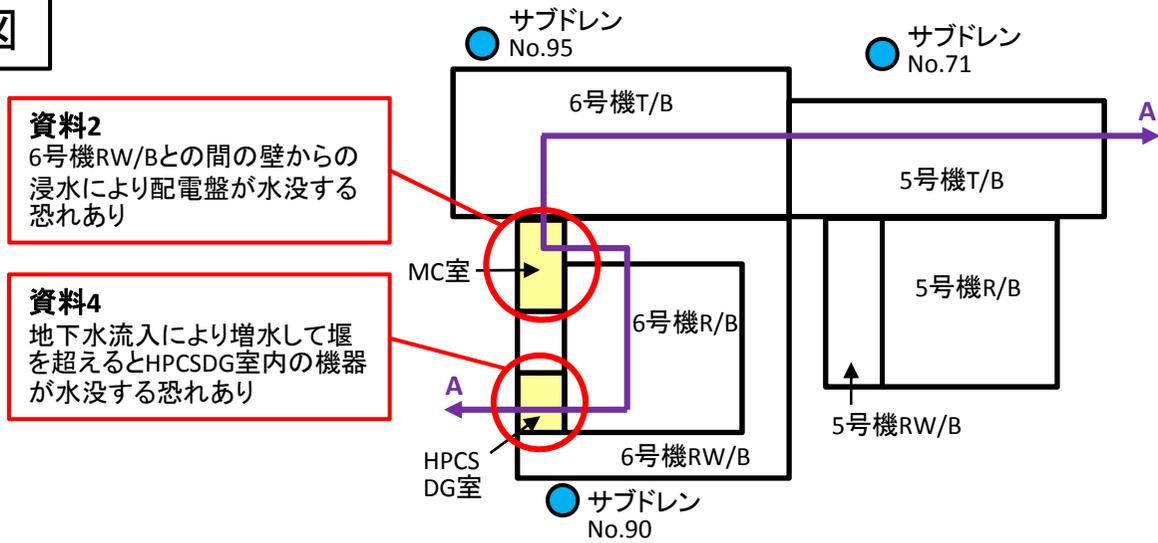
資料V-3

A-A断面図



※O.P.: 小名浜港工事基準面からの高さ(単位はmm)

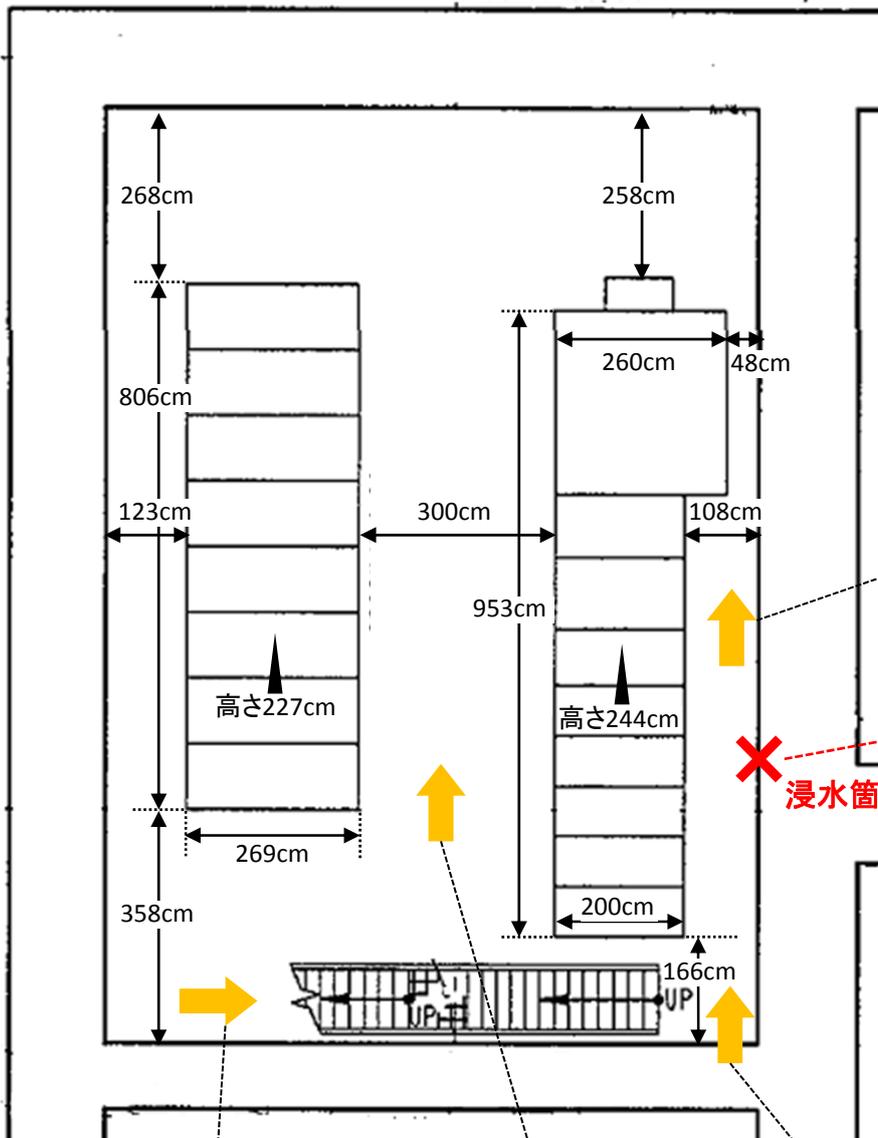
平面図



東京電力作成資料を基に作成

# MC室内への浸水の状況(3月26日時点)

資料V-4



(8/22東京電力撮影)



(3/26東京電力撮影)

拡大



(3/26東京電力撮影)



(8/22東京電力撮影)



(8/22東京電力撮影)

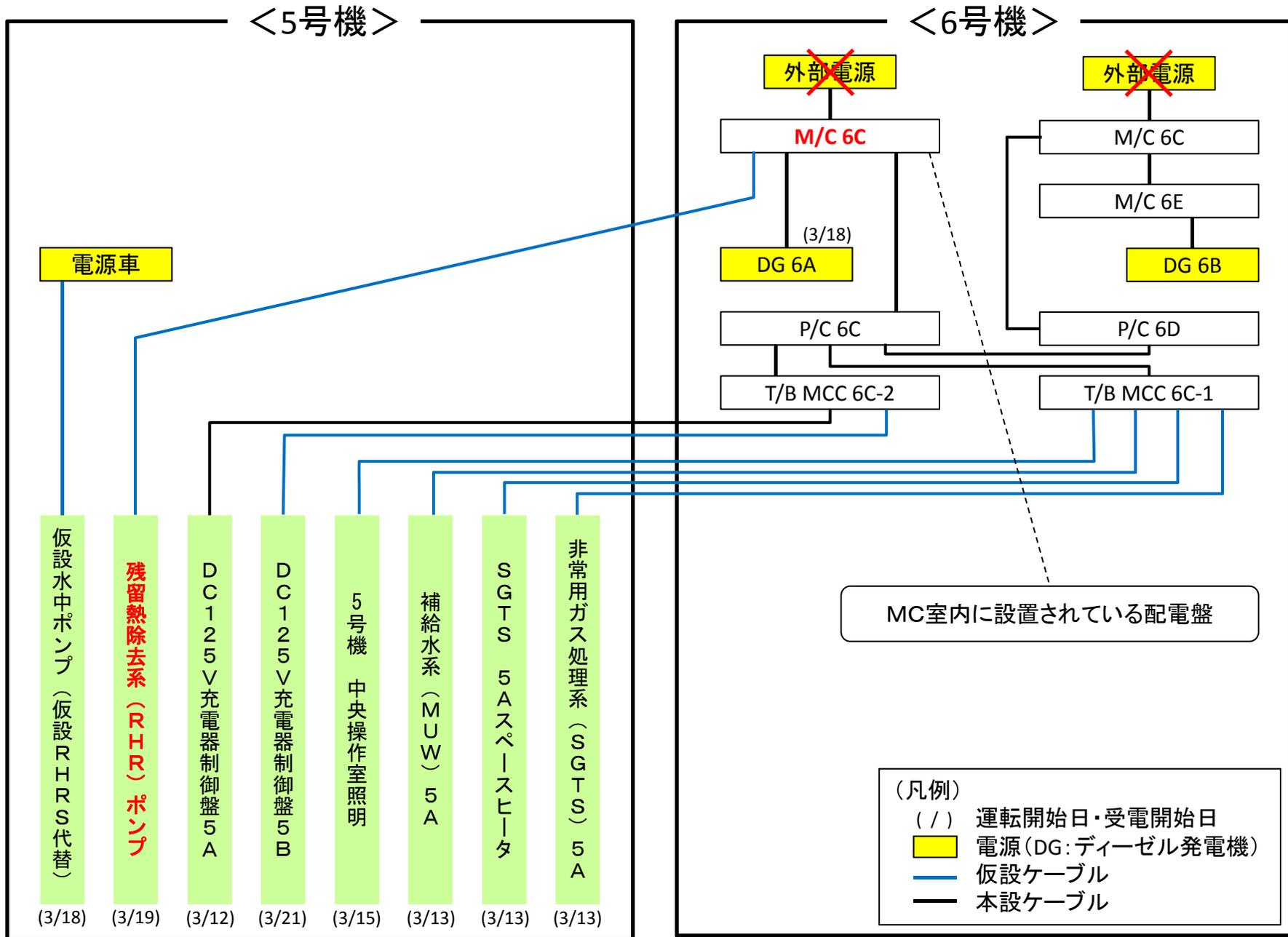


(8/22東京電力撮影)

東京電力作成資料

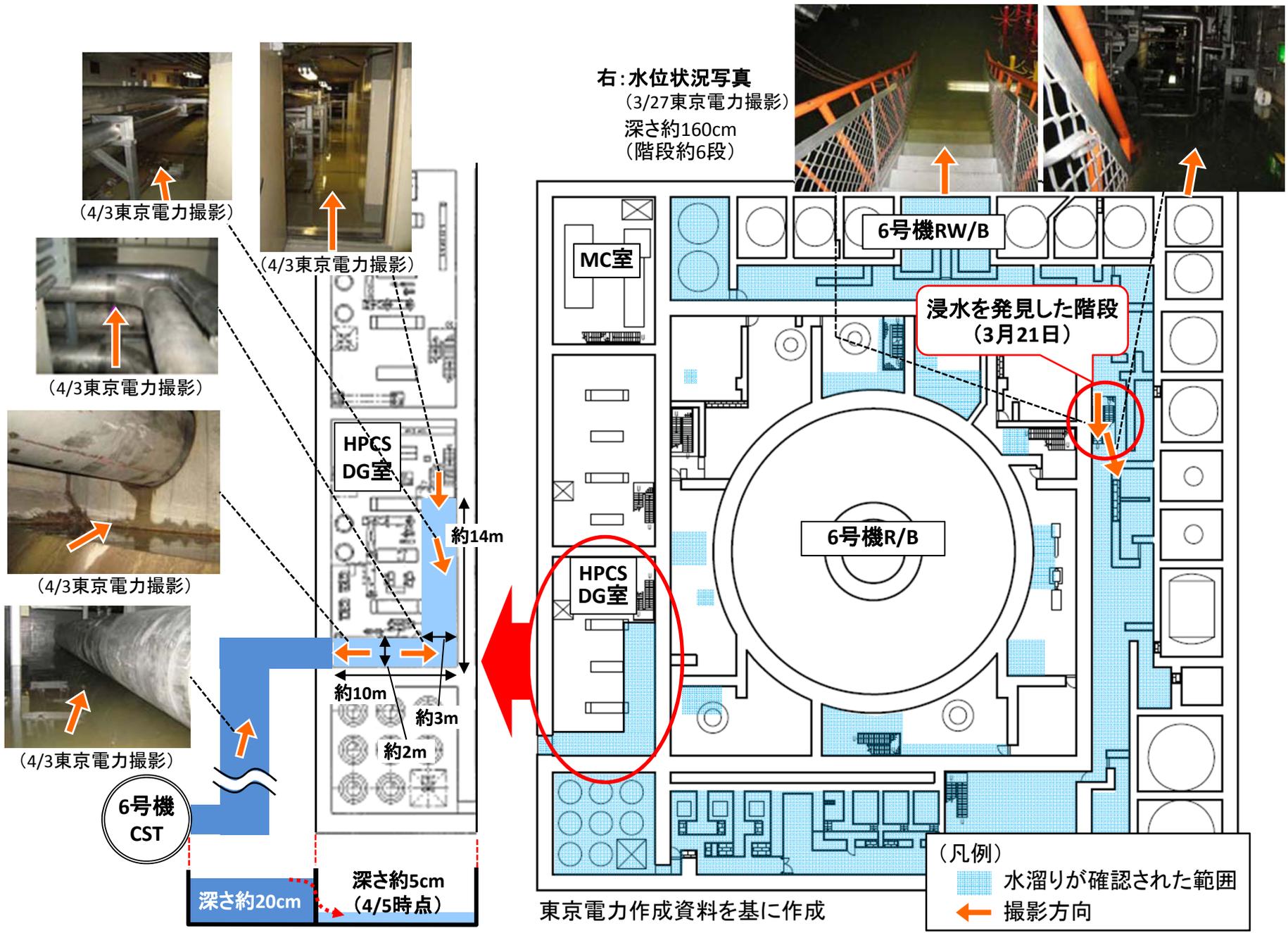
# 6号機から5号機への電源融通状況(3月21日時点)

資料V-5



東京電力作成資料を基に作成

# 6号機R/B・RW/B地下2階の滞留水の状況

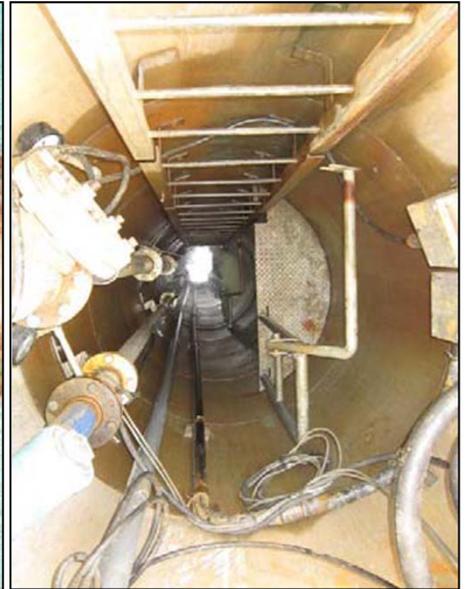


# サブドレンの構造・配置

資料V-7

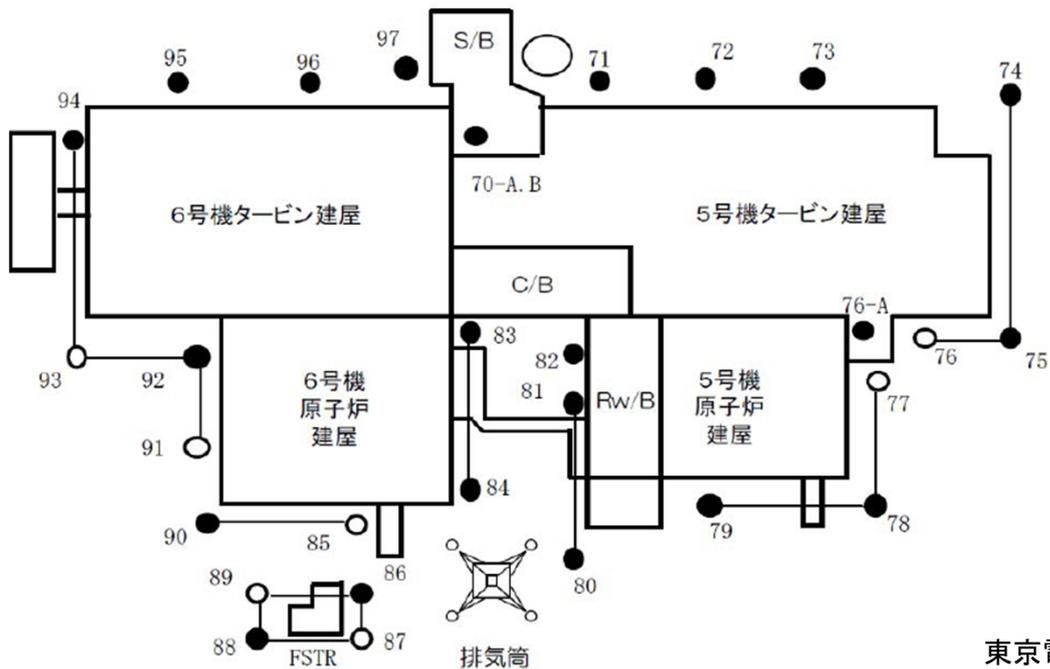


有効開口 約450mm × 約700mm



(いずれも4号機T/B南東のサブドレンNo.56。5枚全て5/2東京電力撮影。)

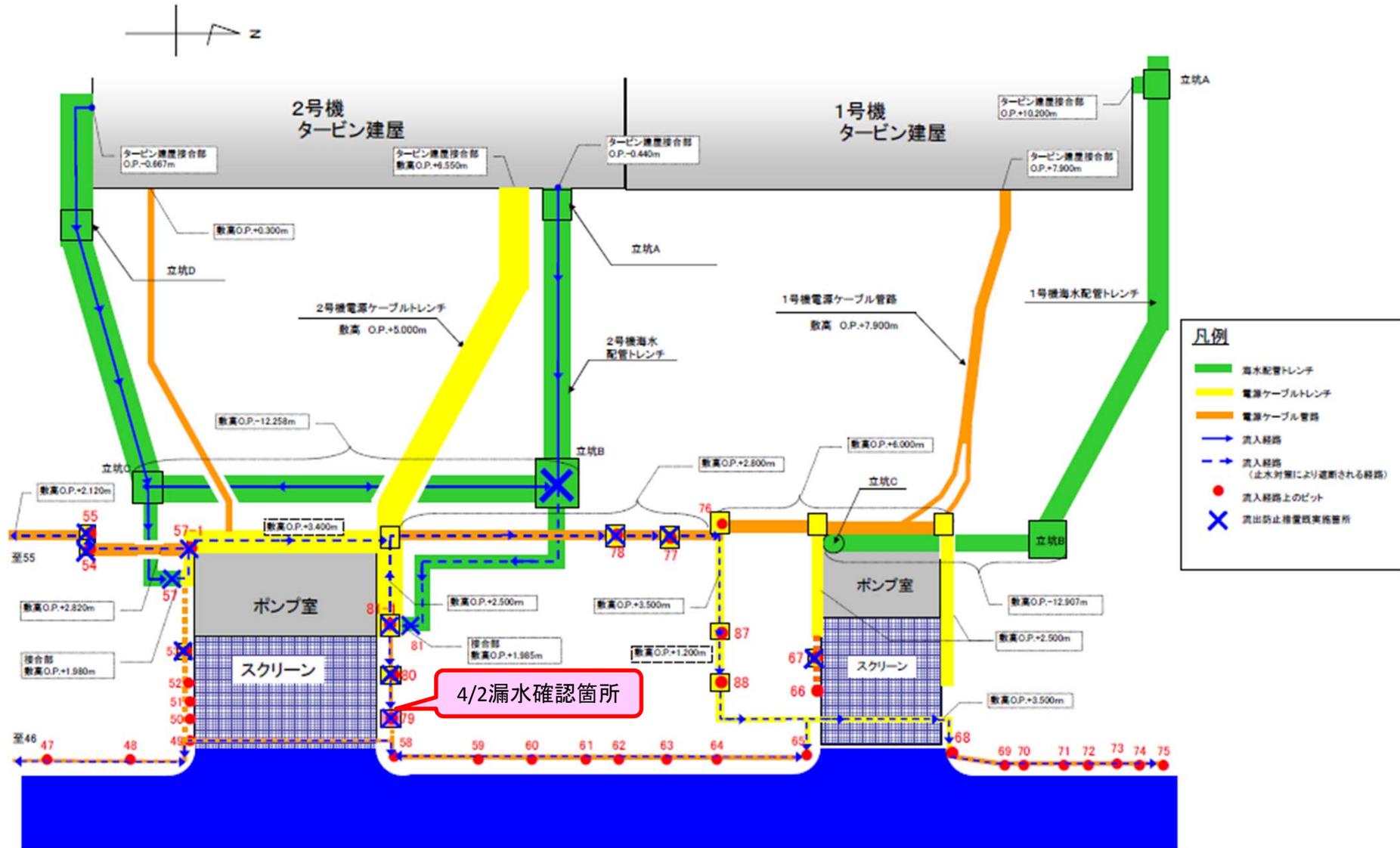
## 5・6号機サブドレンの配置図



東京電力作成資料

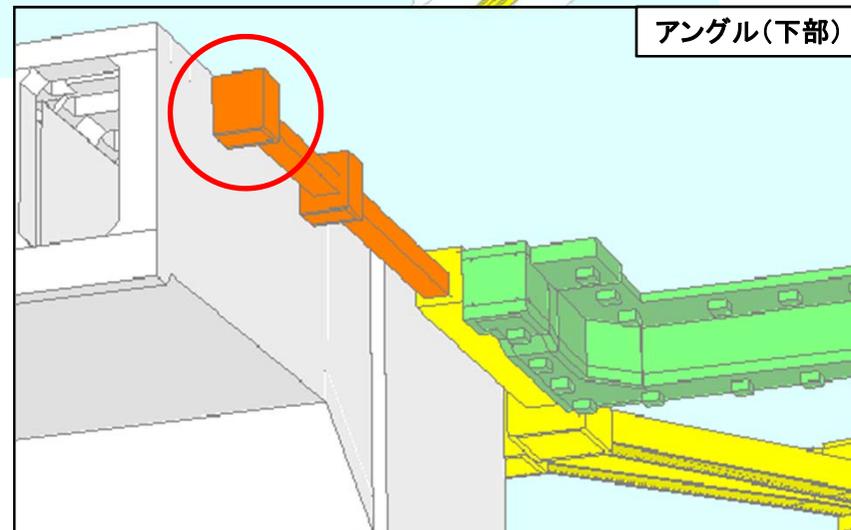
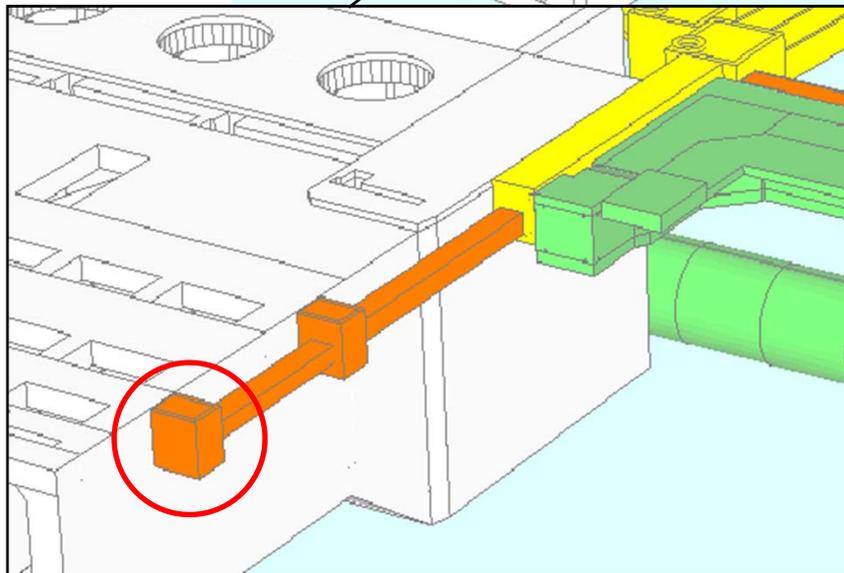
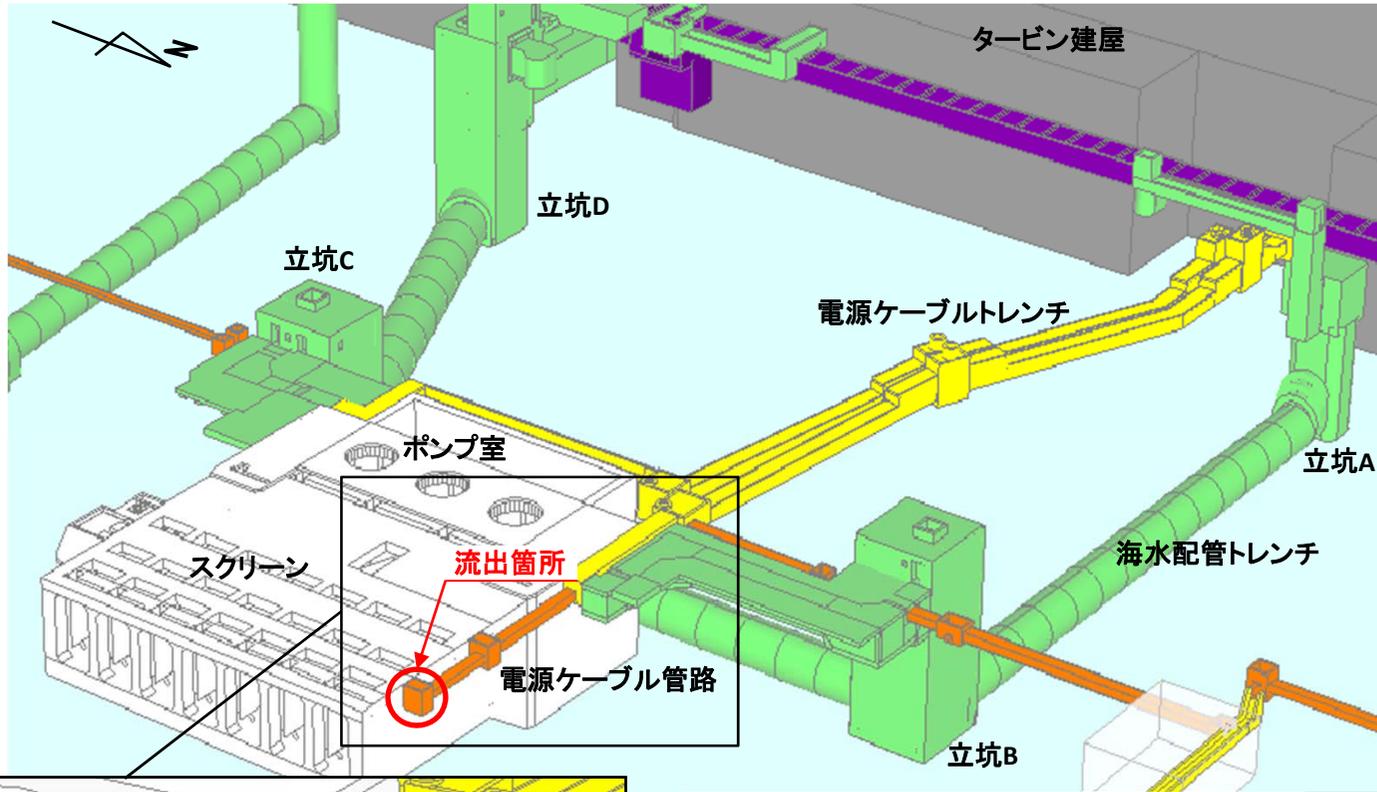
# 2号機取水口付近における高濃度汚染水流出の経路(平面図)

資料V-8



# 2号機取水口付近における高濃度汚染水流出の経路(見取図)

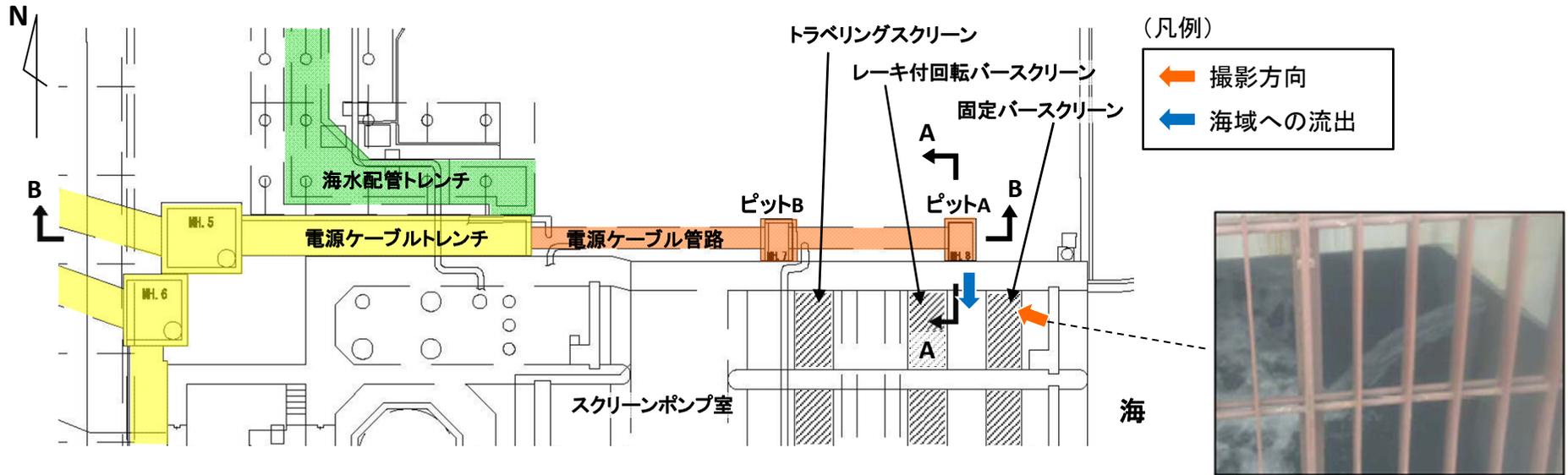
資料V-9



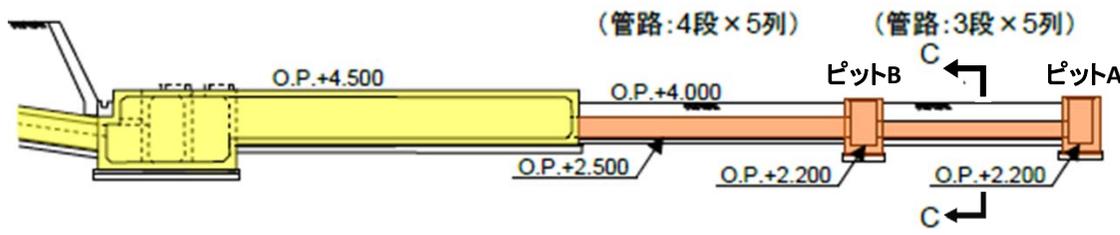
東京電力作成資料

# 2号機取水口付近における高濃度汚染水流出対応状況 (発見時)

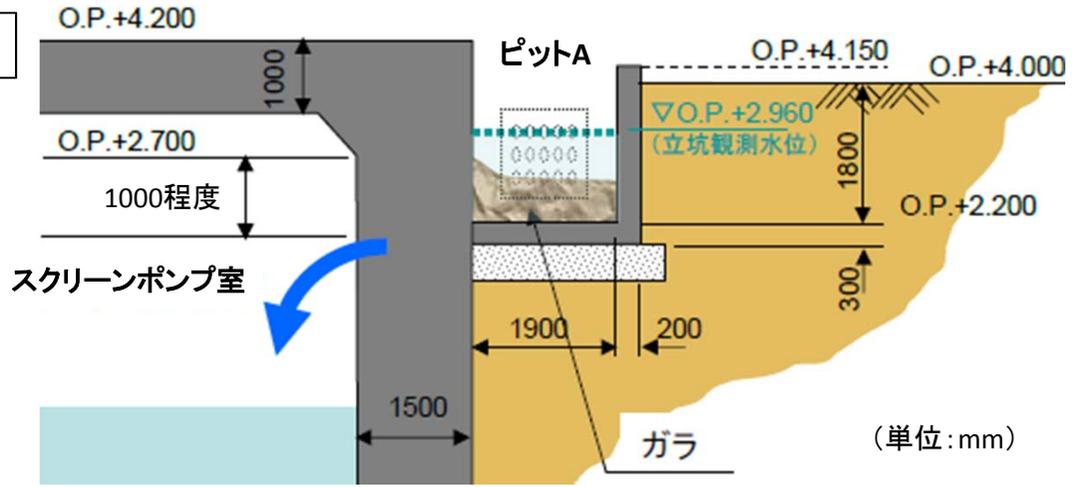
資料 V - 10



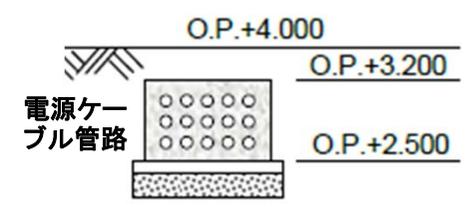
B-B断面図



A-A断面図



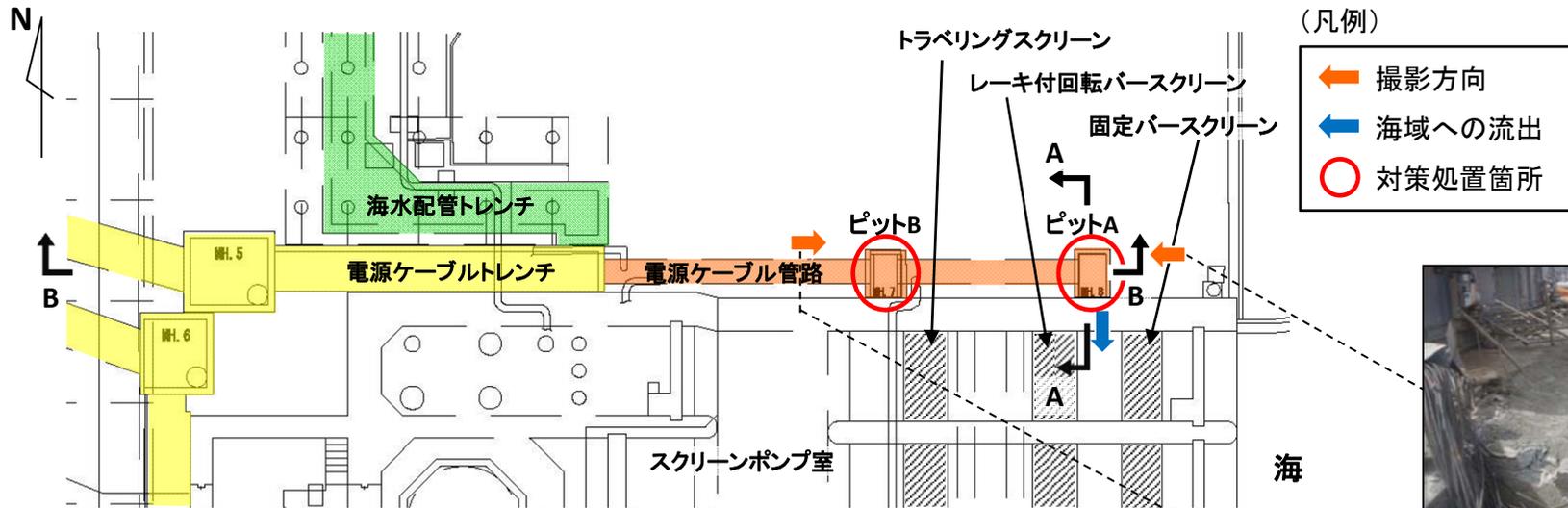
C-C断面図



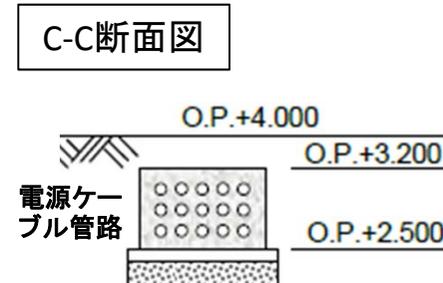
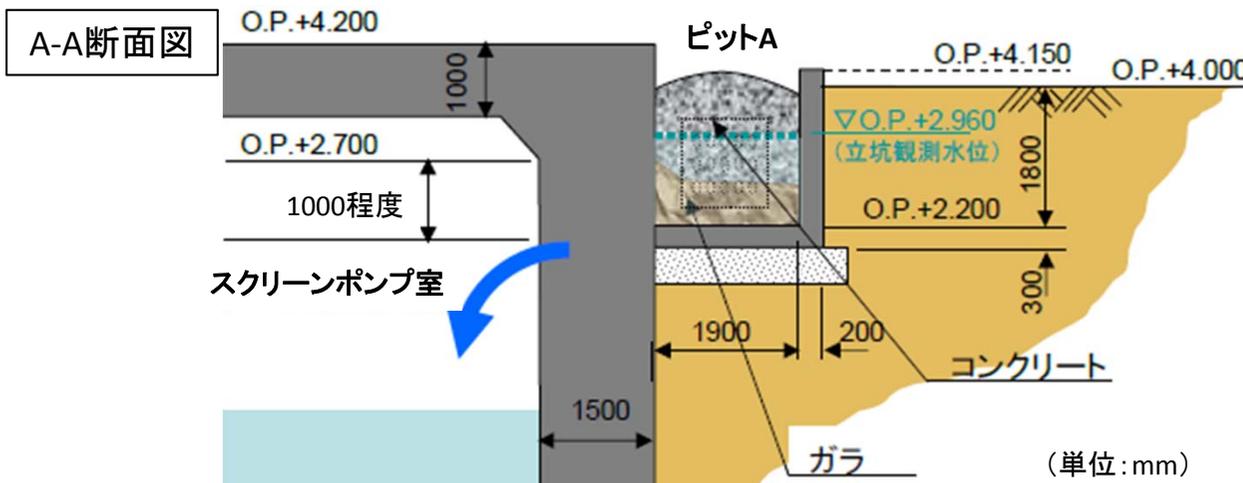
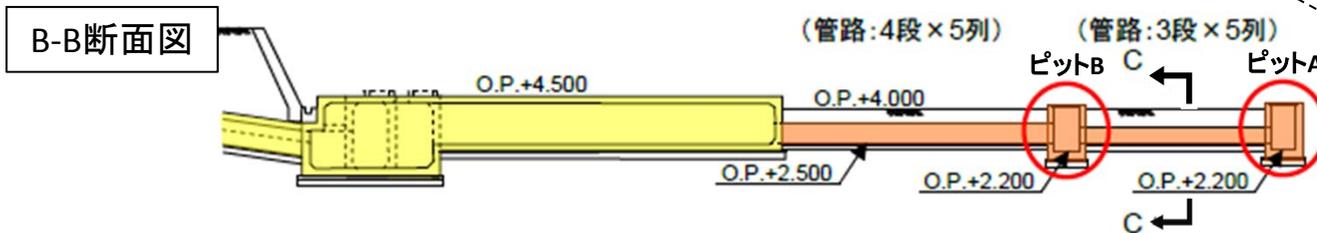
東京電力作成資料

# 2号機取水口付近における高濃度汚染水流出対応状況 (コンクリート注入後)

資料V-11



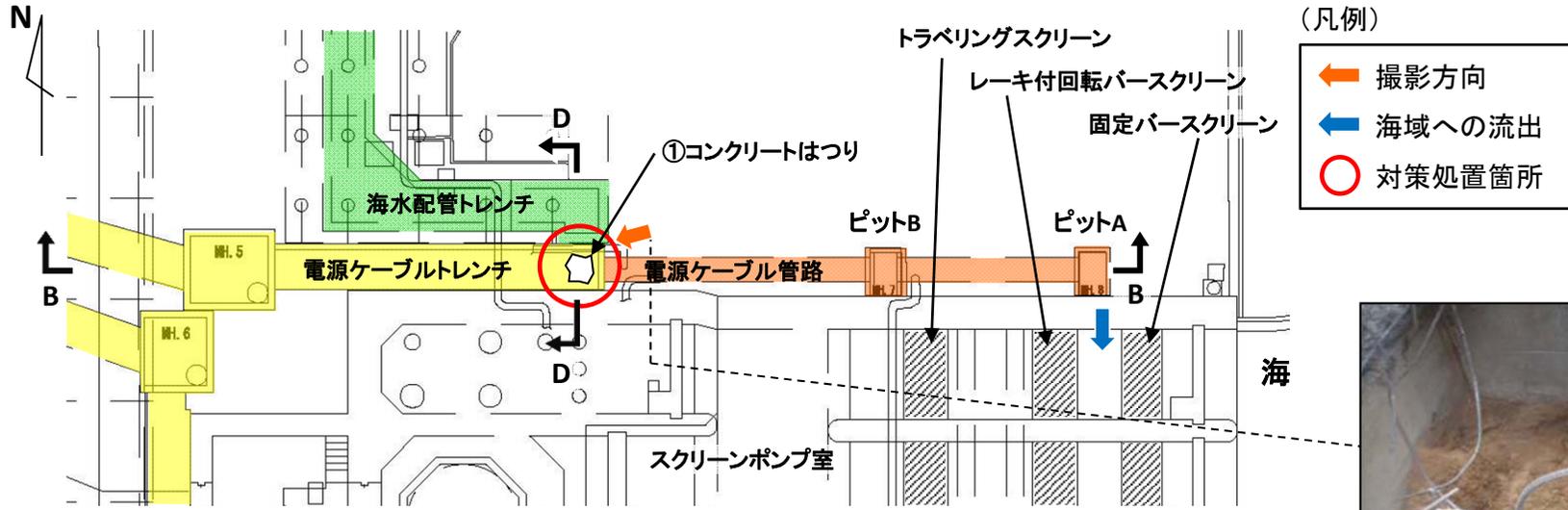
上:ピットA措置後写真  
下:ピットB措置後写真  
(4/4東京電力撮影)



東京電力作成資料

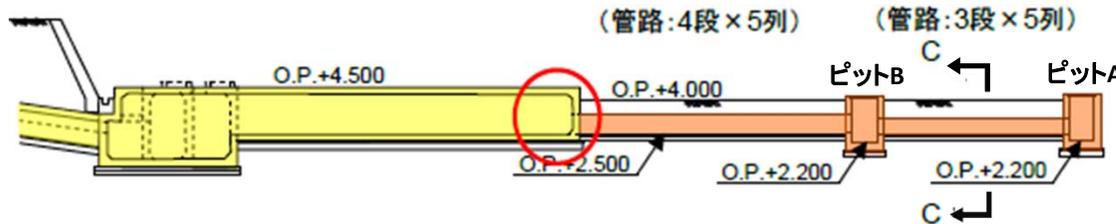
# 2号機取水口付近における高濃度汚染水流出対応状況 (ポリマー等投入後)

資料 V - 12

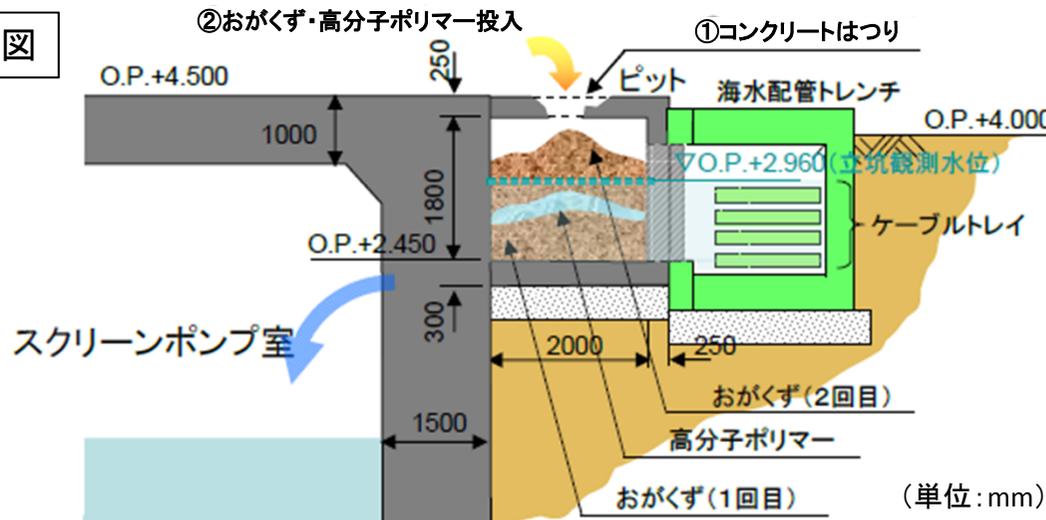


高分子ポリマー等投入時写真  
(4/3 13:47頃東京電力撮影)

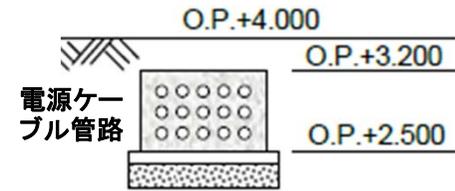
B-B断面図



D-D断面図



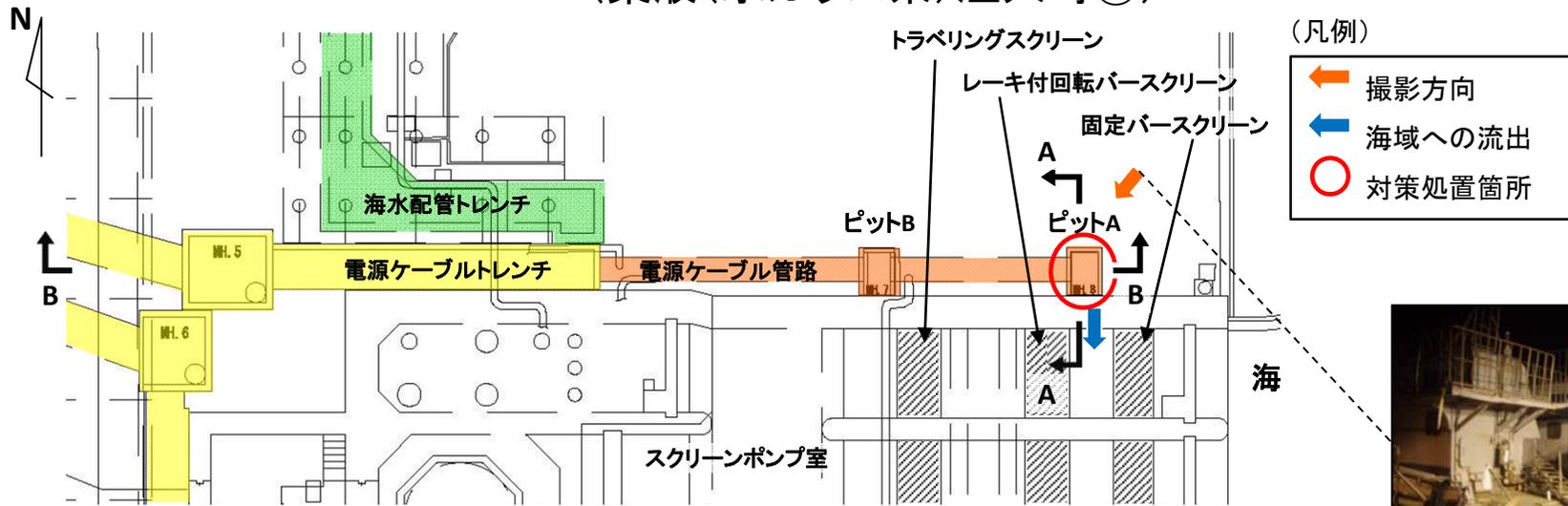
C-C断面図



東京電力作成資料

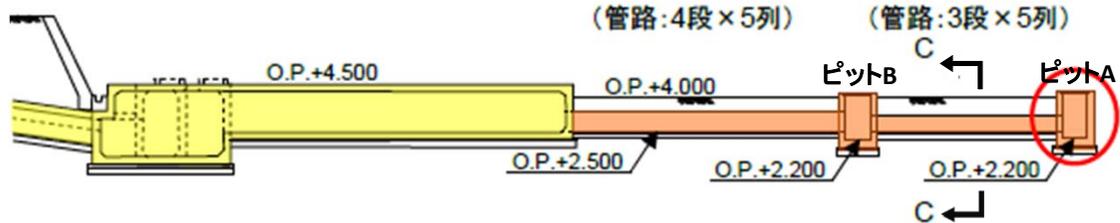
# 2号機取水口付近における高濃度汚染水流出対応状況 (薬液(水ガラス系)注入時①)

資料 V - 13

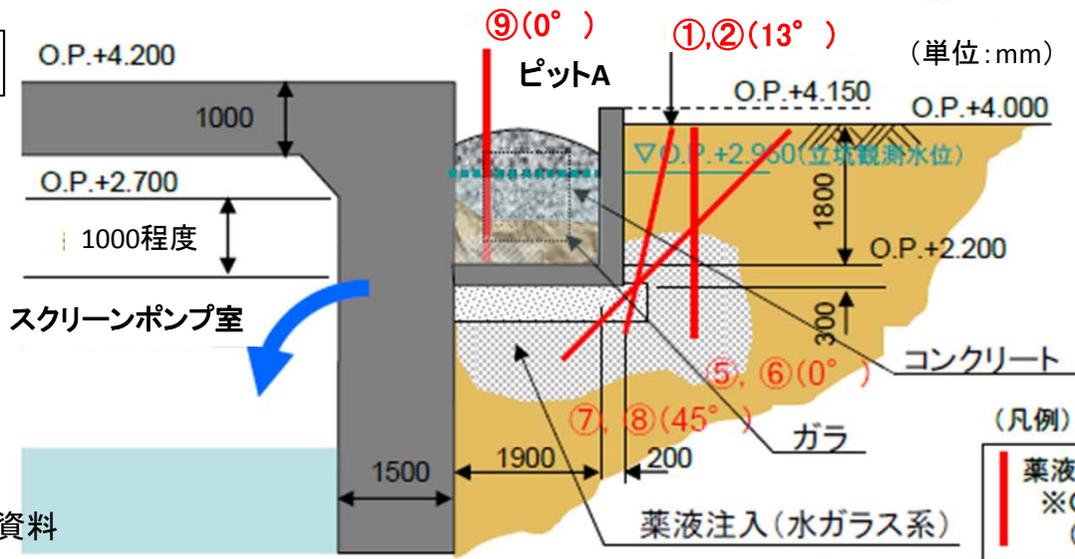


薬液注入時写真  
(4/5東京電力撮影)

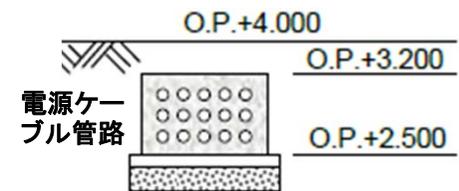
B-B断面図



A-A断面図



C-C断面図

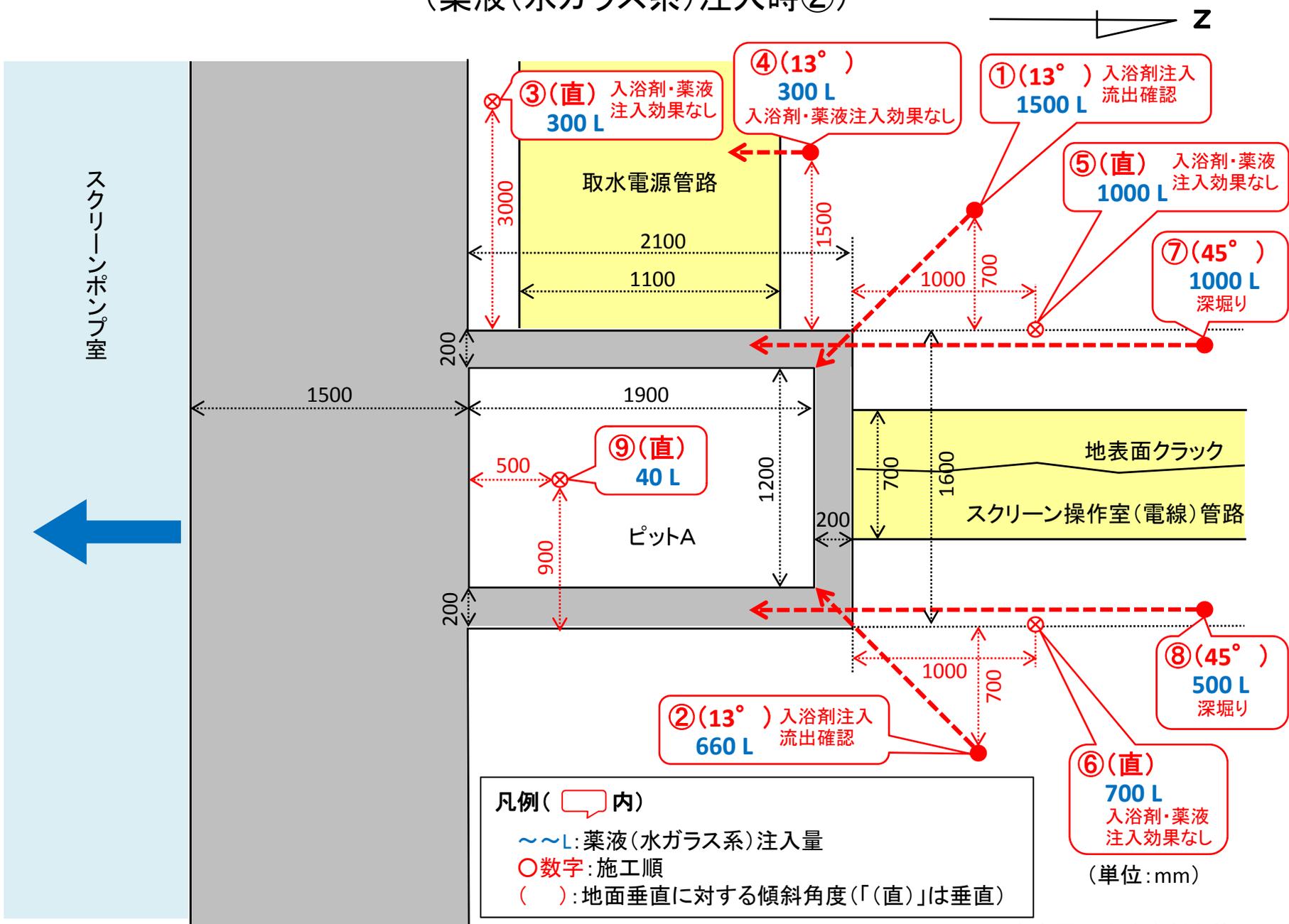


(凡例)  
 薬液(水ガラス系)注入ロッド  
 ※○数字は施工順 および  
 ( )内は地面垂直に対する傾斜角度

東京電力作成資料

# 2号機取水口付近における高濃度汚染水流出対応状況 (薬液(水ガラス系)注入時②)

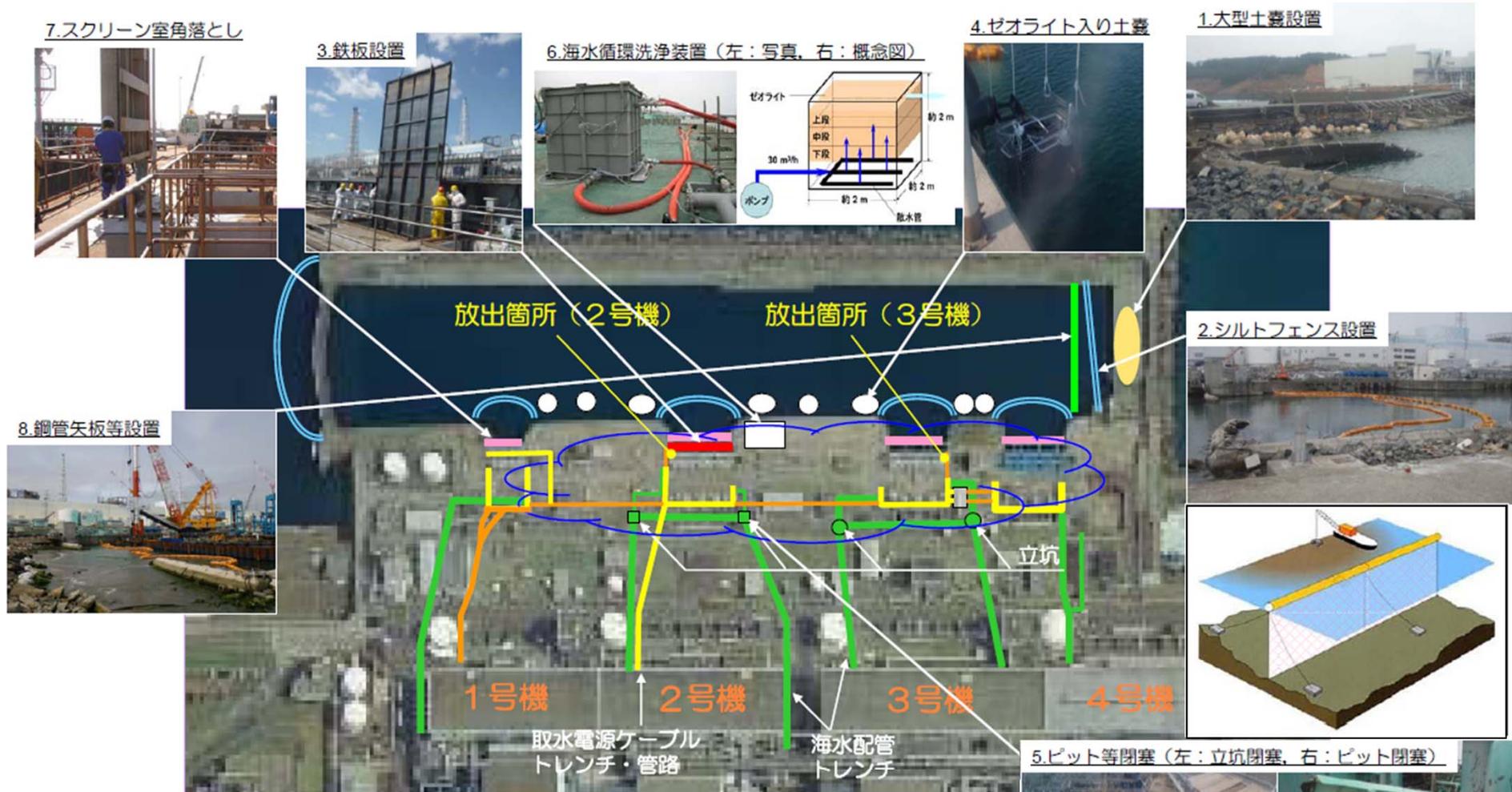
資料V-14



東京電力作成資料を基に作成

# 放射性物質を含む液体の拡散防止強化対策(箇所図)

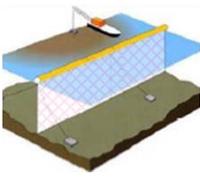
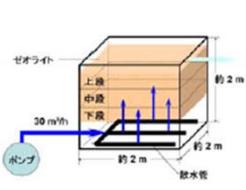
資料 V - 15



- 1. 大型土嚢 (4/5~4/8)
- 2. シルトフェンス (4/11~4/14)
- 3. 鉄板設置 (4/12~4/15)
- 4. ゼオライト入り土嚢 (4/15, 4/17, 4/19)
- 5. ピット等閉塞 (海水配管トレンチ立坑:4/5~5/30, 電源ケーブルトレンチ等閉塞:4/2~6/25)
- 6. 海水循環浄化装置 (設置: 5/中旬~5/下旬, 運用: 6/13~ )
- 7. スクリーン室角落とし (6/12~6/29)
- 8. 鋼管矢板等 (7/12~9月下旬) [掃海作業7/12開始, 鋼管矢板等打設: 8/17~9/6完了]

東京電力作成資料

# 放射性物質を含む液体の拡散防止強化対策(一覧) 資料V-16

No.	対策項目	期間	概要	状況
1	大型土嚢設置	4月5日～4月8日	防波堤(外郭施設)の被災箇所にて大型土嚢62袋を設置した	
2	シルトフェンス設置	4月11日～4月14日	シルトフェンスを取水口カーテンウォール、スクリーン・ポンプ室前面および透過防止工の破損個所に計6箇所を設置した	 
3	鉄板設置	4月12日～4月15日	2号機のスクリーン・ポンプ室前面側に鉄板を合計7枚を設置した	
4	ゼオライト入り土嚢の投入	4月15日、4月17日、5月19日(追加投入)	各号機のスクリーン・ポンプ室間の護岸前面にゼオライト入り土嚢を投入した	
5	ピット等の閉塞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海水配管トレンチの立坑閉鎖: 4月5日～5月30日</li> <li>・電源ケーブルトレンチ等の閉塞: 4月2日～6月25日(2号機汚染水漏洩対策を含む)</li> </ul>	放射性物質を含む液体の漏洩リスクがある下記のピット等について止水対策を実施した ・海水配管トレンチの立坑閉塞 ・電源ケーブルトレンチ等の閉塞	
6	海水循環浄化装置の設置	設置: 5月中旬～5月下旬 運用開始: 6月13日	海水循環浄化(ゼオライトにより吸着)する装置を2、3号機間のスクリーンポンプ室間の護岸部に設置して、海水浄化を実施中	 
7	スクリーン室の角落としの設置	6月12日～6月29日	スクリーン・ポンプ室の海側に角落とし(鋼製)を設置した	
8	外郭施設への鋼管矢板等設置	7月12日～9月28日	防波堤(外郭施設)の損傷個所に設置した大型土嚢の内側に鋼管矢板等を設置	

東京電力作成資料

# 3号機T/B(立坑内)の汚染水の水位

資料V-17

単位:mm

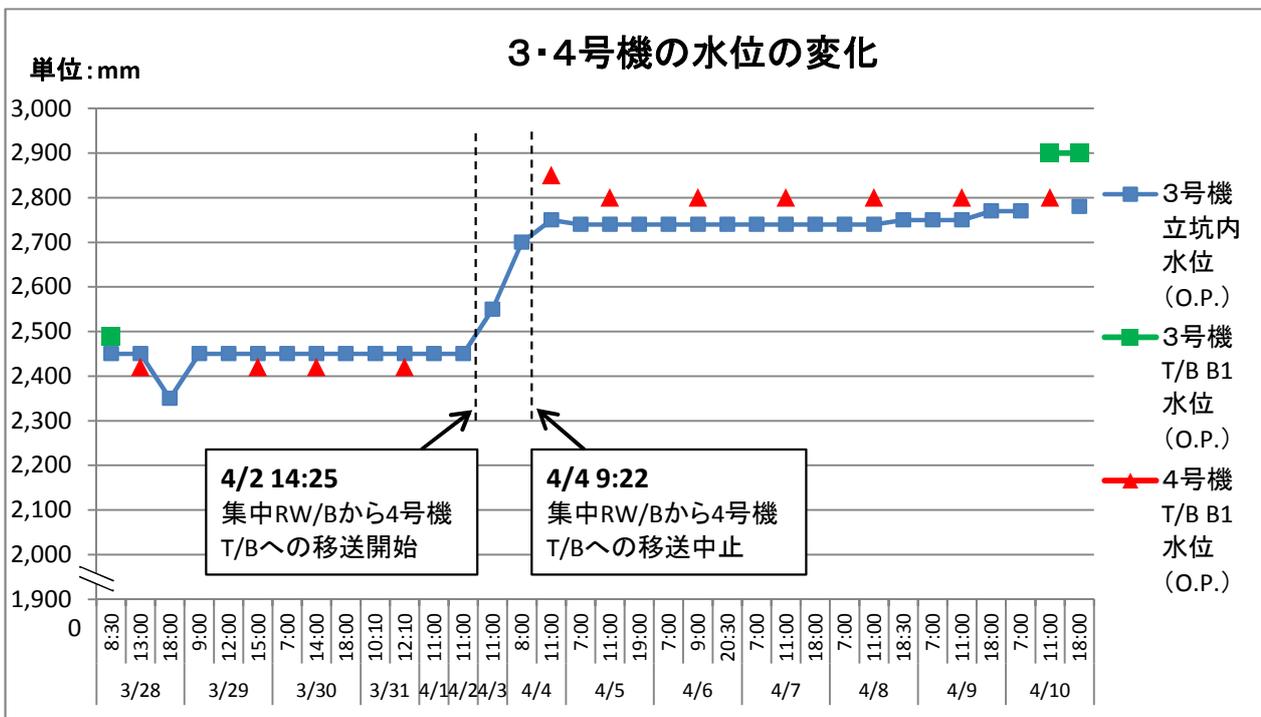
月日	3/28			3/29			3/30			3/31	
時間	8:30	13:00	18:00	9:00	12:00	15:00	7:00	14:00	18:00	10:10	12:10
3号機立坑内水位(O.P.)	2,450	2,450	2,350	2,450	2,450	2,450	2,450	2,450	2,450	2,450	2,450
3号機T/B B1水位(O.P.)	2,490										
4号機T/B B1水位(O.P.)		2,420				2,420		2,420			2,420

単位:mm

月日	4/1	4/2	4/3	4/4		4/5			4/6		
時間	11:00	11:00	11:00	8:00	11:00	7:00	11:00	19:00	7:00	9:00	20:30
3号機立坑内水位(O.P.)	2,450	2,450	2,550	2,700	2,750	2,740	2,740	2,740	2,740	2,740	2,740
3号機T/B B1水位(O.P.)											
4号機T/B B1水位(O.P.)					2,850		2,800				2,800

単位:mm

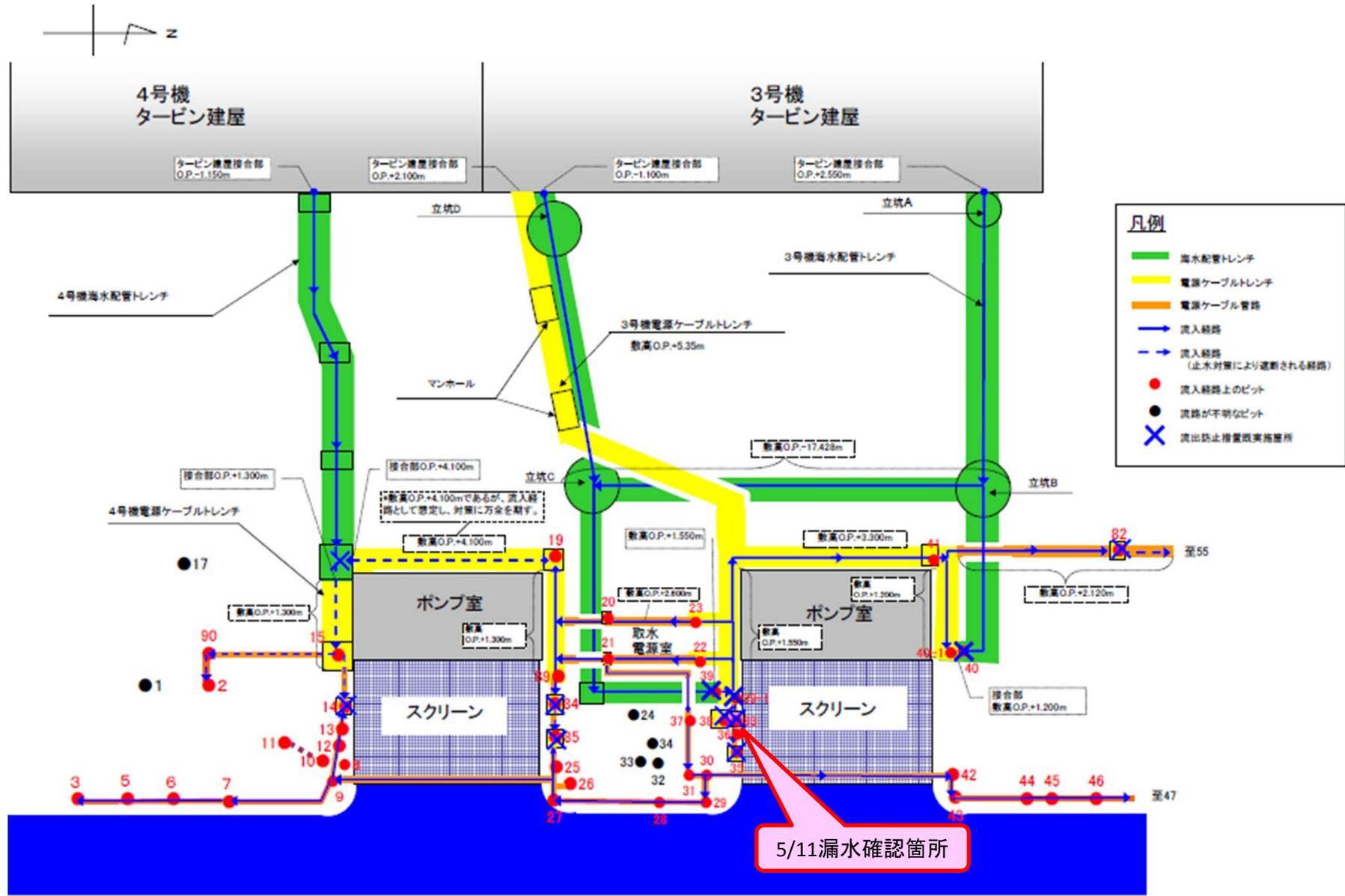
月日	4/7			4/8			4/9			4/10		
時間	7:00	11:00	18:00	7:00	11:00	18:30	7:00	11:00	18:00	7:00	11:00	18:00
3号機立坑内水位(O.P.)	2,740	2,740	2,740	2,740	2,740	2,750	2,750	2,750	2,770	2,770		2,780
3号機T/B B1水位(O.P.)											2,900	2,900
4号機T/B B1水位(O.P.)		2,800			2,800			2,800			2,800	



東京電力作成資料を基に作成

# 3号機取水口付近における高濃度汚染水流出の経路(平面図)

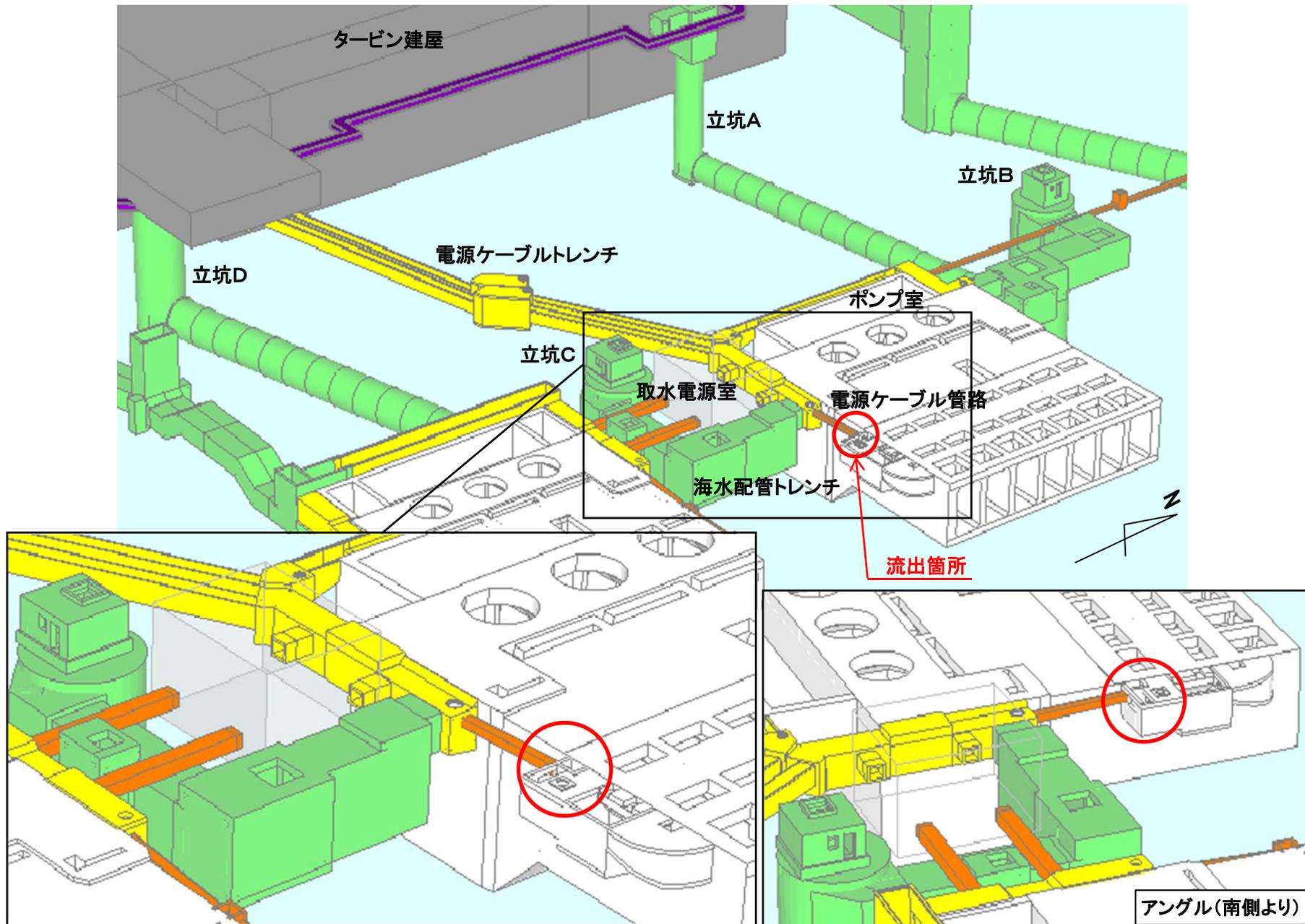
資料V-18



東京電力作成資料

# 3号機取水口付近における高濃度汚染水流出の経路(見取図)

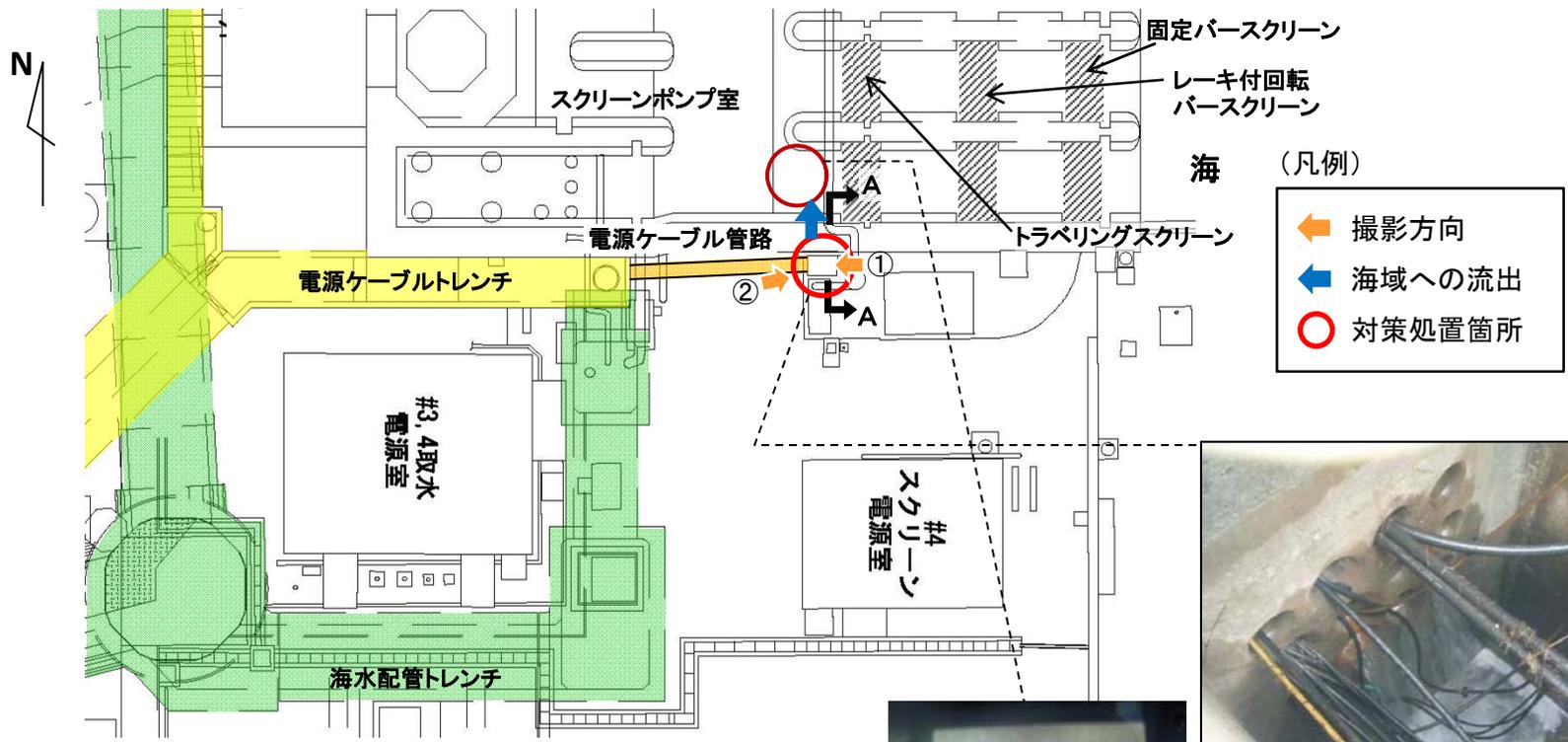
資料V-19



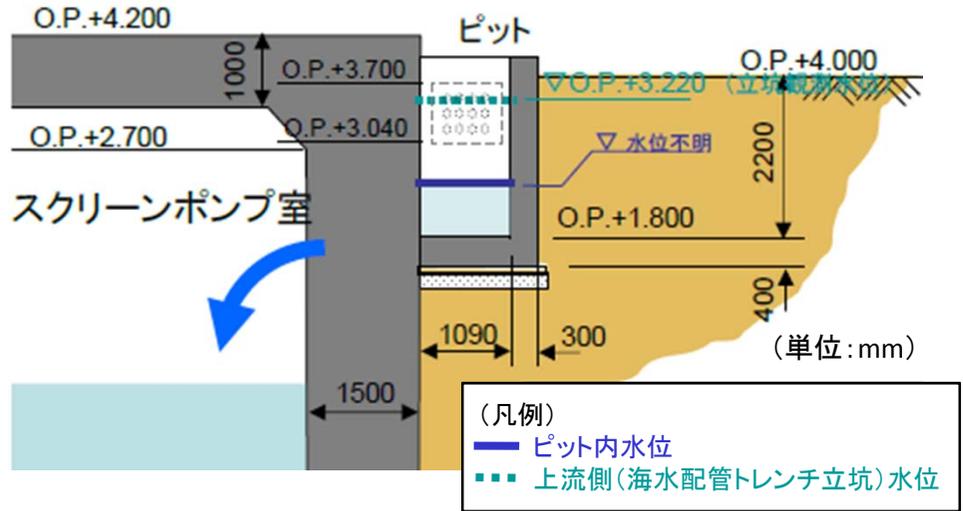
東京電力作成資料

# 3号機取水口付近における高濃度汚染水流出対応状況

資料 V - 20



A-A断面図



電源ケーブルピットからスクリーンエリアへの流況写真 (5/11 18:30東京電力撮影)



上: 電源ケーブルピットへの流況写真(①) (5/11 10:30頃東京電力撮影)  
 下: 漏洩ピットのコンクリート打設後(②) (5/12 7:30頃東京電力撮影)

# 原子力施設等における INES 基準

資料 V - 21

INES レベル	「人と環境」基準	「施設における放射線バリアと管理」 基準	「深層防護」基準		
事故	レベル7 (深刻な事故)	・計画された広範な対策の実施を必要とするような、広範囲の健康および環境への影響を伴う放射性物質の大規模な放出。 (数万テラ・ベクレルを超えるヨウ素 131 の大気への放出)	旧ソ連・チェルノブイリ発電所事故 (1986 年)		
	レベル6 (大事故)	・計画された対策の実施を必要とする可能性が高い放射性物質の相当量の放出。 (数千～数万テラ・ベクレル程度のヨウ素 131 の大気への放出)			
	レベル5 (広範囲な影響を伴う事故)	・計画された対策の一部の実施を必要とする可能性が高い放射性物質の限定的な放出。 ・放射線による数名の死亡。 (数百～数千テラ・ベクレル程度のヨウ素 131 の大気への放出)	英国・ウインズケール原子炉事故 (1957 年)	・炉心の重大な損傷。 (燃料の数%を超える溶融、または、炉心インベントリーの数%を超える放射性物質の燃料集合体からの放出) ・高い確率で公衆が著しい被ばくを受ける可能性のある施設内の放射性物質の大量放出。これは、大規模臨界事故または火災から生じる可能性がある。	米国・スリーマイルアイランド発電所事故 (1979 年)
	レベル4 (局所的な影響を伴う事故)	・地元で食物管理以外の計画された対策を実施することになりそうもない軽微な放射性物質の放出。 ・放射線による少なくとも 1 名の死亡。 (数十～数百テラ・ベクレル程度のヨウ素 131 の大気への放出)	日本・JCO 臨界事故 (1999 年)	・炉心インベントリーの 0.1 % を超える放出につながる燃料の溶融または燃料の損傷。 ・高い確率で公衆が著しい大規模被ばくを受ける可能性のある相当量の放射性物質の放出。	フランス・サンローラン発電所事故 (1980 年)
異常な事象	レベル3 (重大な異常事象)	・法令による年間限度の 10 倍を超える作業員の被ばく。 ・放射線による非致命的な確定的健康影響 (例えば、やけど)。	・運転区域内での 1 Sv/時を超える被ばく線量率。 ・公衆が著しい被ばくを受ける可能性は低い設計で予想していない区域での重大な汚染。	・安全設備が残されていない原子力発電所における事故寸前の状態。 ・高放射能密封線源の紛失または盗難。 ・適切な取扱い手順を伴わない高放射能密封線源の誤配。	スペイン・バンデロス発電所火災事象 (1989 年)
	レベル2 (異常事象)	・10mSv を超える公衆の被ばく。 ・法令による年間限度を超える作業員の被ばく。	・50 mSv/時を超える運転区域内の放射線レベル。 ・設計で予想していない施設内の区域での相当量の汚染。	・実際の影響を伴わない安全設備の重大な欠陥。 ・安全設備が健全な状態での身元不明の高放射能密封線源、装置、または、輸送パッケージの発見。 ・高放射能密封線源の不適切な梱包。	日本・美浜発電所 2 号機蒸気発生器伝熱管損傷事象 (1991 年)
	レベル1 (逸脱)			・法令による限度を超えた公衆の過大被ばく。 ・十分な安全防護層が残ったままの状態での安全機器の軽微な問題。 ・低放射能の線源、装置または輸送パッケージの紛失または盗難。	日本・「もんじゅ」ナトリウム漏れ事故 (1995 年) 等
安全上重要でない(評価尺度未満/レベル0)					

原子力安全・保安院「原子力施設等の事象の国際評価尺度」を基に作成